ゴア®TAG® 胸部大動脈ブランチ型ステントグラフトシステム(TBE)　操作上のチェックポイント

操　作

1. CT読影及び正確なサイジング □

2. 適応に則った症例選択と、ケースプランニング（デバイスの組み合わせ） □

3. アクセスルートの選択・必要に応じた事前処置（Conduit) □

4. デバイス留置位置及びデバイスサイズ選択の為の造影 □

5. 20,22,24,26Frシースの準備 □

6. シース挿入時の確認（ガイドワーヤーの挿入状態やマーカーの位置確認） □

7. 分枝血管へのアクセス □

8. デバイスの準備（フラッシュ、メインワイヤー、サイドブランチワイヤー） □

10. デバイスの挿入時の注意事項 □

11. 留置位置の確認（必要に応じたC-ARMの操作）・造影 □

12. ２本のワイヤーのねじれの確認、解除 □

13. メインデバイスのディプロイメント □

14. カテーテルの除去 □

15.　サイドブランチの挙上、位置調整 □

16. サイドブランチのディプロイメント □

17. カテーテルの除去 □

18. 必要に応じて、追加デバイスの準備 □

19. デバイス留意位置及びオーバーラップ長さの確認 □

20. 必要に応じて、ゴアトリローブバルーンの挿入及びタッチアップ（順序など及び60°回転） □

21. サイドブランチへのバルーンの挿入及びタッチアップ □

22. バルーンの抜去、抵抗時の処理 □

23. 最終造影の実施 □

24. アクセスルートの造影、問題の有無の確認 □